



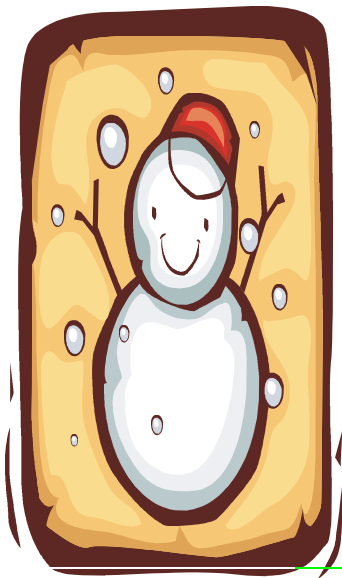
二〇一一年十二月号
冬の夜長に読書を！
クリスマスに読書を！

今年ものこり僅か
となりました。良い
新年をお迎え下さい。
図書館を大いに利用
してください！

図書館のお薦め本
「河北新報のいち
ばん長い日」

河北新報社
文藝春秋

東日本大震災の折、
地元の新聞「河北新
報」が何をどう報道
したか描いた本です。
救助を待つ人々の
姿をヘリコプターで
見ても、その様子を
報道することしかで
きず「何やってんだ、
俺。最低・」と、
うちのめされる記者
もいました。
自分自身が被災し
た記者もいました。
死者・行方不明者
約二十万人の大災害の
中、人々に新聞を届
け続けた「河北新報」
は、今年度新聞協会
賞を受賞しました。



図書館のお薦め本
「聖ニコラスがやつ
てくる！」

クレメント・ムーア

柳瀬尚紀訳

西村書店

「聖ニコラスがやつ
てくる！」はアメリカ
の神学者クレメント・
ムーアの有名な詩です。
一八二二年のクリスマ
ス・イブ、自分の子ど
もらに聞かせた作品と
いわれています。

友人がこの詩をニユ
ーヨークの新聞に投稿
し、翌年十二月二十三
日「聖ニコラスのご来
訪」として掲載され、
アメリカ中に広まりま
した。日本でも「あす
はたのしいクリスマス」



「サンタがイブに
やってきた」等の
題で出版されてい
ます。

柳瀬さんの訳は
思わず口ずさみた
くなるリズムがあ
りしかも詩らしく
脚韻をふんだ名訳
です。ぜひ一度読
んでみて下さい。

もうひとつ寝ると
クリスマス
ねずみ一匹チユー
とも鳴かぬ夜の
静寂しじまに耳すます

暖炉に靴下ならべ
てつるして
聖ニコラスのご来
訪を期待して

(中略)
わたしはふりむき
目をこらす
煙突ぬけてすどん
と落下は聖ニコ
ラス